

## 地球温暖化防止実行計画Ⅰ 平成27年度実績値

平成27年度の町内公共施設等の温室効果ガス総排出量実績値とその他の削減目標実績値

(1) 役場庁舎と庁舎以外の機関を含めた全ての組織及び施設(指定管理者制度、外部委託施設も含む)

### ■温室効果ガス(二酸化炭素)の排出実績

基準年度：平成20年度 2,725トン

年度	排出量(t)	平成20年度比
平成23年度	1,455	46.6%減
平成24年度	2,489	8.7%増
平成25年度	2,841	4.3%増
平成26年度	3,001	10.1%増
平成27年度	2,793	2.5%増

### ■その他の削減目標実績値(コピー用紙) \*学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成20年度 148万枚

年度	使用枚数(万枚)	平成20年度比
平成23年度	193	30.4%増
平成24年度	176	18.9%増
平成25年度	182	23.0%増
平成26年度	168	13.5%増
平成27年度	189	27.7%増

### ■その他の削減目標実績値(上水道使用量)

基準年度：平成20年度 87,460m<sup>3</sup>

年度	使用量(m <sup>3</sup> )	平成20年度比
平成23年度	39,967	54.3%減
平成24年度	63,554	27.3%減
平成25年度	68,725	21.4%減
平成26年度	76,870	12.1%減
平成27年度	79,157	9.5%減

(2) 被災施設等（給食センター、図書センター、遠山保育所、テニスコート、第1スポーツ広場、アクアリーナ、町民体育館、仮設住宅）を除外した施設

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成20年度 1,678トン

年度	排出量 (t)	平成20年度比
平成23年度	1,446	13.8%減
平成24年度	1,787	6.5%増
平成25年度	1,858	10.7%増
平成26年度	1,776	5.8%増
平成27年度	1,669	0.5%減

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） \*学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成20年度 146万枚

年度	使用枚数 (万枚)	平成20年度比
平成23年度	191	30.8%増
平成24年度	171	17.1%増
平成25年度	171	17.1%増
平成26年度	159	8.9%増
平成27年度	181	24.0%増

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成20年度 48,128m3

年度	使用量 (m3)	平成20年度比
平成23年度	39,943	17.0%減
平成24年度	39,194	18.6%減
平成25年度	33,701	30.0%減
平成26年度	34,413	28.5%減
平成27年度	35,360	26.5%減

### (3) 実績概要

全施設での実績値はH20(基準)年2,725 tで平成27年度が2,793 tとなり2.5%増加となり、平成27年度の二酸化炭素排出量を目標値2,588 t (2,725 t × 95%) との対比では、205 tの増加と目標達成には至りませんでした。震災による被災施設を削除した場合は、0.5%削減され、徐々に目標に近付いていることが確認できました。

電気使用量については、震災に伴う事務量の拡大によるもので、震災当時のH23は880 tと38.3%減少し、H24からH27まで増加はしましたが、H26をピークに下降しており、今後は、事務量の縮小に伴い減少すると考えられます。

二酸化炭素が増加した施設(増加率)については、役場(34%)、給食センター(55%)、ゆめクラブ管理棟(2,079%)、サッカースタジアム(71%)、まつかぜ児童館(210%)、テニスコート(2,529%)となっています。

増加の要因として、震災に伴う事務量の増により電気量やコピー用紙の増加、施設利用者の増加、新設や増築に伴う電気量の増が理由と思われる。

また削減された施設としては、国際村(2.9%減)、汐見小学校(15.7%減) 町民プール(30.0%減)がそれぞれ目標達成できました。

平成23年度より、環境にやさしい町づくり推進のために取り組んでいる「みやぎ環境交付金事業」で、465基の街路灯をLEDに交換し、26トンの二酸化炭素排出量の削減を図り、また、公用車には、大気を汚さない「低公害車」を使い、二酸化炭素削減を図っております。さらに、平成26年9月より役場・国際村・生涯学習センター・各学校にそれぞれ20kWの太陽光発電システムを設置し、102トンの二酸化炭素排出量の削減、クリーンエネルギーの推進を図りました。

震災という状況の中でありましたが、個々が仕事をしていく中で少しでも環境を守るために出来ることを考え、エアコンの設定温度を見直す。不要な照明は消す。省エネ型機器を選ぶ。エコドライブを意識する。ミスプリントをなくし、両面コピーや裏面再利用の等、日々の小さな節電、節約の積み重ねの徹底に努めました。

今後、震災後の二酸化炭素排出量の増加や社会情勢の変化を踏まえ、地球温暖化防止対策を一層推進してまいります。